

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年12月28日

事業所名 エジソンジュニア

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	児童数により部屋を分けスペースを確保している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	利用者の特性に合わせて職員を配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	80%	0%	20%	固定概念にとらわれることなく個々に合わせて設備の配置を行っている。	こうあるべきだと固定概念にとらわれることなく個々の特性に合わせた環境になるように今後も取り組んで行く。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	換気を常に行い児童の降所後は清掃・アルコール消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	0%	20%	職員会議でPDCAサイクルについての議題に取り組んでいる。	勤務状況により会議に参加できない職員などにも周知できるように改善に取り組む。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	保護者の意向があれば職員間でミーティングを行い改善に取り組んでいる。	保護者との意見交換の機会を増やせる取り組みを行い業務改善に繋げる。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	児童室にお知らせという掲示版を作り誰でも見られるようにしている。	ホームページにも掲載している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	0%	100%		現在は第三者評価は行っていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	0%	20%	内部・外部研修には積極的に参加している。	特定の職員だけではなく広く職員が研修に参加する機会を増やして行きたい。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	ストレング스에着目した課題を設定している。	ニーズや課題を今以上により深く分析できるような仕組みを考えて行きたい。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	事業所独自の詳細なアセスメントシートを使用している。	
	12 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	職員間で話し合い適切かつ具体的な設定を行っている。	支援項目・内容についての設定を今以上に職員に共通認識できる取り組みを行う。
	13 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	職員間での話し合いにより周知徹底を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	活動を立案する職員間の話し合いを定期的に行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	付加的要素を加え固定化しない工夫を行っている。	児童の成長に合わせた活動内容の立案を行って行きたい。
	16 (放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	継続して取り組める課題を設定して長期休養に合わせた取り組みを行っている。	きめ細やかにまで設定できるように長期休養前に職員間での話し合う機会を増やして行く。
	17 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	個別での課題や集団での課題を職員間で話し合い共有している。	

	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	0%	20%	毎回ミーティングを行っている。	個々に対しての配慮について、または職員の役割について深く理解できていない場合もあるので伝達方法の改善に努める。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	0%	20%	気付いた点については情報共有している。	支援の振り返りについてはできていない場合もあるので必ずできるように職員の時間調整に努める。	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	日報やニーズ整理表を活用して検証・改善につなげている。		
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	半年に1回以上は行っている。		
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%	0%	0%	ガイドラインに沿いながらも活動内容が固定化しないように取り組んでいる。		
	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	担当職員や児童発達管理責任者が参加している。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか						
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	下校時に教職員と情報交換を行い、必要に応じては学校に連絡を行っている。	保護者から学校のお知らせプリントで情報を頂いているが年間計画等の交換はできていないので今後は学校と交換して行きたい。	
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					医療ケアが必要な児童の利用がない。	
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					医療ケアが必要な児童の利用がない。	
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか						
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか						
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60%	0%	40%		現状は情報共有できていないが必要に応じて連携して行きたい。	
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%		現状は卒業する児童がいらないが情報提供の要請があれば本人や保護者の承諾を得た上で情報を提供して行きたい。	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	0%	100%		研修などがあれば積極的に参加して助言などを参考にして行きたい。	
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	100%		コロナの影響もあり障害がない子ども達と活動する機会はないが機会があれば一緒に活動を行うことも視野に入れている。	
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	80%	0%	20%	子ども部会に参加できるように職員の勤務を調整している。	職員が幅広く参加できるように職員の勤務調整を行う。	

	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	気になることがある場合は保護者に連絡して状況の共通理解に努めている。	送迎時に子どもの状況について保護者と話しているが保護者の要望があれば伝達方法については個々に変更して行きたい。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	40%	0%	60%		保護者に助言することはあるが家族支援プログラム的には行っていない。
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に行い、変更があれば随時説明している。	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	支援内容を担当職員より説明して保護者に同意を頂いている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	必要に応じて助言や相談を行っている。	現状は保護者より要望があれば助言などを行うが今後は定期的に行う為の調整に努める。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	0%	100%		保護者会を開催できていないので今後は開催できるように調整に努める。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	申入れがあれば迅速に対応している。	相談などがあれば可能な限り即座に対応できるように環境を整えて行きたい。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	児童と作った活動新聞を配布している。	毎月予定表を配布して活動内容を知らせているが情報量が限られているので改善に努める。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%		注意はしているが、職員の個人情報の取り扱いに対する意識向上の為に今後も努めて行く。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	0%	20%	絵カード・写真・動画などで視覚化するなどの配慮を行っている。	伝達ツールが少ないので今後は個々に合わせた伝達方法を増やして行きたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	0%	100%		コロナで現在は行っていない。
	非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	80%	0%	20%	定期的に訓練を実施している。
47		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	避難に必要な物や避難場所に向かう訓練を定期的に行っている。	
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	保護者より情報を頂いている。	
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	アレルギーがある児童用におやつや給食を分けている。	
50		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	ヒヤリハットを作成している。	ヒヤリハットを必ず確認して情報共有や理解を今以上に職員が深めることができる取り組みを行う。
51		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待研修を定期的に行っている。	職員の虐待についての意識を今以上に高める取り組みを行う。
52		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	40%	0%	60%		現在は身体拘束を必要とする児童はいない。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。